

山行報告

■六甲・地蔵谷～掬星台

＜アルプ山行＞

- 日 程：1月14日(日)
- 参加者：L三木(悦) SL須増 尾内 尾越 笹木 中村 福田
- 行動記録：JR 新神戸駅 8:45 発～公園(8:50 着・ストレッチ)9:04 発～桜茶屋(9:42 着)9:50 発～天狗道分岐(10:04 着)～地蔵大滝(10:23 着)10:28 発～アドベンチャールート入口(11:23 着)11:33 発～アドベンチャールート黒岩尾根側分岐(11:55 着)～掬星台(12:20 着)13:00 発～摩耶山史跡公園(13:15 着)～青谷道登山口(14:05 着)

◆新春の摩耶山でアイゼントレ！！。。ならず。。

笹木

年始めのアルプの山行は六甲、地蔵谷でのアイゼントレで始まった。

摩耶山の天狗道は六甲東縦走路で最も急登で長い坂道。地蔵谷はその天狗道と北の黒岩尾根の間にある谷だ。摩耶山に登る地蔵谷コースは、谷川の渡渉を繰り返し、いくつかの堰堤を越えて登って行くと聞き、谷底から這い登って行くイメージを持った。新神戸駅からスタートし、市ヶ原桜茶屋を過ぎたら天狗道と道を分けて谷へと下りて行く。すぐに一回目の渡渉あり、水流は少なく踏み石もあって難なく渡れた。そこから谷筋に沿って、立ちはだかる堰堤の脇を巻いて、渡渉を繰り返し登って行く。地蔵滝辺りではそれなりの水量があったが、上部に行くにつれ枯れ谷となった。

昨夜から冷え込んだので道が凍っているかと期待したが、雪も氷もなく、小さな霜柱を踏む程度で、残念ながらアイゼンの出番は無かった。登山道は落ち葉に埋もれ、道があるようで無いようで、踏み跡を辿って進むが分かりにくい所も多々あった。登山者も少ない。何回目かの



渡渉ヶ所で迷っていると、運よく下山してきたソロ登山者が気づいてくれて、大きな声で道を教えて下さった。八回目の渡渉をして堰堤に登ったところで休憩の指示が出た。11時半。そろそろお腹が空いてきた、とパンの袋を開けようとしたら「笹木さんちょっと待って」と、福田さんのザックからパウンドケーキが。。。チーズと黒コショウが効いてとっても美味。しばらくパン作り談議に花が咲いた。手作

りの心遣いにお腹も心も満たされ、力も湧いてもうひとふんばり、このコース一番の難所？アドベンチャールートに挑む。が、いきなり道が不明瞭。標識無し、テープ無し、上や下やと意見が分かれる。ここで、事前にチェックされていたリーダーが、スマホのGPSを見ながら「そっちは下りてしまう、登るのはこっちや！」と、迷うことなく枯れ枝でふさがった斜面を登ると小さな赤テープを確認。その後は迷うことなく20分で黒岩尾根側分岐に出ることが出来た。ここまで来ればもう安心！みんな晴れやかな顔でおしゃべりしながら30分で掬星台に着いた。風もなく暖かい日差しの中でお弁当を食べて、青谷道を通って無事下山した。バスで三ノ宮に出て「ザコバ」で今年のアルプの山行についてミーティング。



飲んで喋って、いつもの山行ではなかなか取れないメンバーと交流の時間が持てたことで、これからのアルプ山行の期待も膨らみ、とても良いスタートになったのではないかと思います。お世話頂いた三木リーダー、同行の皆様、有難うございました。今年もよろしくお願い致します。

■樹氷の金剛山を歩く

- 日 程：2月3日(土)
- 参加者：L島谷 SL須増 上田 小田 澤田(律) 高島 徳本 春本 安田
- 行動記録：金剛山登山口 9:40 発～5 合目東屋(10:45 着)10:55 発～金剛山国見城跡(11:50 着)12:40 発～展望台ちはや園地(13:45 着)14:00 発～伏見峠 14:10 発～ロープウェイバス停(14:45 着)

◆大賑わいの金剛山

安田

久しぶりの金剛山、それこそ連れられて数年前に登った山でした。今回は雪が有る山のはずでアイゼン持参。とても楽しみにしていたのですが、残念ながら雪は無しでした。その代わり良い天气に恵まれました。

朝早くから JR 姫路駅で集合なのですが、ホームに上がると、もうすぐ発車と言う。最後尾の車両に走る。Hさんが手を振って、早く！と言っている。焦りました。無事に合流できてホッと座席に着きました。私はたまにギリギリ乗車ありで、今回もでした。反省！加古川組と合流して南海電鉄河内長野駅で下車。ここで全員合流しバスに乗り金剛山登山口へ。ここで満員だったバス客は登山口で下車です。さすが人気の山のように沢山のハイカーです。沢山の登山道が蜘蛛の巣のようにあり、私達が登るのは、いきなりの急な石段でした。とにかく階段ばかりが頂上までであると事前に聞いていたのですが本当にそうでした、途中にある千早城跡や神社の境内だけがフラットなだけで、後はひたすら階段を上ります。でもよく整備されていて気持ちよかったです。足元ばかりを見ながらひたすら登り、やっと7.5合目辺りから森を抜けて下界がわずかながら見えるよ



う。とにかく階段ばかりが頂上までであると事前に聞いていたのですが本当にそうでした、途中にある千早城跡や神社の境内だけがフラットなだけで、後はひたすら階段を上ります。でもよく整備されていて気持ちよかったです。足元ばかりを見ながらひたすら登り、やっと7.5合目辺りから森を抜けて下界がわずかながら見えるよ

うになり、ホッとしました。

山頂辺りは「どこから来たの?」と思うくらい沢山の人で溢れています。金剛山といえば有名なライブカメラです。たまたま映る時間に私達は遭遇しました。よく来るおじさんが「もうすぐやで、5分前。あと1分」などと横でカウントしてくれます。皆カメラの前で目立つようにポーズを取ります。後でスマホを見ると確かに写っていました。私達が写っている時間帯は人が一番多かったようです。だから探さないと分かりません。他の時間帯は非常に映っている人がすくない。でもいい記念になりました。



昼食後、本殿に参拝し、葛城神社を見学、後は迷わないよう伏見峠方向へ下山です。途中に高い所まで登れる鉄骨の展望台があり、そこからの眺めは最高でした。天気が良いので、奈良県の代表的な山と思われる山上ヶ岳・八経ヶ岳・釈迦ヶ岳など、雪を被って雄大な美しい姿を見ることができました。その後ろには大峰山系熊野古道があるのでしょうか、次はあそこに登りたい、などと賑やかに話が弾みました。そこから少し下ると「ちはや園地展望台」があり、ここでは望遠カメラを持つ人が何人もおられて鳥を探していました。金剛山は色んな楽しみ方が出来る山のようにです。施設の中を見学して下山。雪が無かった分、早めの帰宅となりました。

とても良い山行をさせて頂きました。リーダーはじめ皆様ありがとうございました。

金剛山ライブカメラ 2024年2月3日 12:00

